




平成17年度(平成18年3月期)

決算説明会

平成18年5月16日

代表取締役社長 塩野 元三

 塩野義製薬株式会社



Agenda

	ページ
平成17年度 決算の概要	
・ 経営成績	3
・ 財政状態及びキャッシュ・フローの状況	4
・ セグメント別売上高	5
・ 営業利益	6
・ 営業利益 増減の要因	7
平成18年度 業績予測	
・ 業績予測	9
・ セグメント別売上高予測	10
・ 営業利益予測	11
・ 利益配分について	12
パイプラインの状況	14
国内営業	16



平成17年度 決算の概要

 塩野義製薬株式会社



平成17年度 決算：経営成績（連結・単体）

（単位：億円）

	17年度 実績	16年度 実績	対前年 UP率%
<連結>			
売上高	1,963	1,993	△ 1.5
営業利益	292	287	1.7
経常利益	296	278	6.7
当期純利益	227	189	20.0
<単体>			
売上高	1,833	1,807	1.5
営業利益	257	245	4.9
経常利益	281	254	10.2
当期純利益	266	177	49.9



平成17年度 決算：財政状態およびキャッシュフローの状況（連結）

	18年3月期 実績	17年3月期 実績	増減
<財政状態>			
総 資 産	4,276	3,969	307
株 主 資 本	3,371	2,998	373
株 主 資 本 比 率	78.8%	75.5%	+3.3%
1 株 当 り 株 主 資 本	989円76銭	879円79銭	109円97銭
<キャッシュ・フローの状況>			
	17年度 実績	16年度 実績	
営業活動によるC / F	168	285	
投資活動によるC / F	△ 120	97	
財務活動によるC / F	△ 247	△ 112	
現金等期末残高	761	957	



平成17年度 決算：セグメント別売上高（連結）

	17年度 実績	16年度 実績	対前年 UP率%
医療用医薬品	1,675	1,680	△ 0.3
フロモックス	341	332	2.9
フルマリン	164	170	△ 3.5
塩酸バンコマイシン	161	161	0.1
イムネース	111	104	7.3
クラリチン	80	89	△ 10.8
オキシコンチン	43	29	47.5
MSコンチン	35	56	△ 36.3
フィニバックス	8	—	—
アベロックス	18	—	—
製造受託	21	13	60.8
一般用医薬品	64	63	1.6
診断薬	34	35	△ 5.2
工業所有権等使用料収入	98	61	61.3
クレストール	81	48	69.5
カプセル	61	118	△ 49.0
不動産賃貸・その他	31	33	△ 8.9
合計	1,963	1,993	△ 1.5

* 医療用医薬品の製品別売上高は単体売上高



平成17年度 決算：営業利益（連結）

	17年度 実績	16年度 実績	対前年 UP率%	増減
売上高	1,963	1,993	△ 1.5	△ 30
（ロイヤルティ）	（ 98）	（ 61）		（ 37）
	35.0	37.2		
	(36.8)	(38.3)		
売上原価	687	740	△ 7.2	△ 53
	50.1	48.4		
販売費・一般管理費	984	966	2.0	18
販売・管理費	662	672	△ 1.4	△ 10
研究開発費	322	294	9.7	28
	14.9	14.4		
営業利益	292	287	1.7	5




平成17年度 決算：営業利益増減の要因

(単位：億円)

カプセル事業の分離	△ 8
販売の減	△ 5
ロイヤルティの増	+ 37
売上原価率の改善	+ 13
販管費の増	△ 3
研究開発費の増	△ 29
合 計	+ 5



平成18年度 業績予測

 塩野義製薬株式会社



平成18年度 業績予測（連結・単体）

（単位：億円）

	18年度 予 測	17年度 実 績	対前年 UP率%
<連結>			
売 上 高	2,100	1,963	6.9
営 業 利 益	320	292	9.5
経 常 利 益	310	296	4.5
当 期 純 利 益	180	227	△ 20.8
<単体>			
売 上 高	1,980	1,833	8.0
営 業 利 益	285	257	10.6
経 常 利 益	290	281	3.2
当 期 純 利 益	170	266	△ 36.2



平成18年度 業績予測：セグメント別売上高（連結）

（単位：億円）

	18年度 予 測	17年度 実 績	対 前 年 UP率%
医療用医薬品	1,768	1,675	5.5
フロモックス	340	341	△ 0.5
フルマリン	150	164	△ 8.5
塩酸バンコマイシン	143	161	△ 10.9
イムネース	110	111	△ 1.2
クラリチン	105	80	31.8
オキシコンチン	70	43	63.0
MSコンチン	20	35	△ 43.0
フィニバックス	35	8	358.1
アベロックス	55	18	209.0
クレストール	10	1	—
セトロタイド	5	—	—
製造受託	42	21	99.5
一般用医薬品	70	64	8.6
診断薬	35	34	2.4
工業所有権等使用料収入	170	98	72.6
クレストール	150	81	84.3
カプセル	—	61	—
不動産賃貸・その他	57	31	84.5
合計	2,100	1,963	6.9

* 医療用医薬品の製品別売上高は単体売上高



平成18年度 業績予測：営業利益（連結）

（単位：億円）

	18年度 予 測	17年度 実 績	対 前 年 UP率%	増 減
売 上 高	2,100	1,963	6.9	137
（ロイヤルティ）	（ 170）	（ 98）		（ 72）
	34.3	35.0		
	(37.4)	(36.8)		
売 上 原 価	721	687	4.9	34
	50.4	50.1		
販売費・一般管理費	1,059	984	7.6	75
販 売 ・ 管 理 費	689	662	4.1	27
研 究 開 発 費	370	322	14.7	48
	15.2	14.9		
営 業 利 益	320	292	9.5	28



□基本方針

当社は、中長期的な視点での企業価値増大を図るため、事業投資を積極的に行うとともに、配当については、各期の業績に応じた配分を基本におきながら、これを安定的に向上させることを目指す。

また、自己株式の取得についても、資本効率の向上の観点で機動的に活用していく。

この方針のもと、平成18年3月期の期末配当については、1株当たり10円の配当を実施する予定であり、これにより1株当たり年間配当金は16円となる。



パイプラインの状況

 塩野義製薬株式会社



□ 第3四半期決算以降の進展

■ 承認


- フィニバックス キット製剤 3月24日付承認
- NS75A (塩酸セトロレリクス) 4月20日付承認

■ 臨床試験

- S-364735 (シオノギー-GSK)
HIVインテグラーゼ阻害薬 Ph I (海外)



国内営業について

 塩野義製薬株式会社



国内営業に関するビジョン

シオノギイズムの復活

- 『“くすりや”としての原点回帰＝Detail & Trace』により、真に患者様のお役に立つ情報と製品を提供しつつ、シオノギ製品の最大化をはかる



(1) MS領域へのDetail強化

- 「循環器のシオノギ」のPresence確立
- BNPからランデル, ロンゲスそしてクレストールへと診断から治療までの総合Detailを展開し、代謝循環器Drへのタスク集中化
- 今後の新薬(イルベサルタン、デュロキセチン)を見据えた展開

(2) Detail活動の量、質、効率の改善

- 訪問件数, Detail品目数, Detail内容のさらなる向上により、質・量両面での効果的・効率的なDetail活動の展開

(3) 全社一丸となった営業サポート体制

- 本部戦略企画部門の創設およびマーケティング部との機能強化による一体的な営業施策の推進
- 医薬研究開発本部, 製造本部, 安全管理部等との連携強化による情報武装化等の営業サポート



国内営業（感染症領域）

- 主力品（フルマリン、フロモックス）の入院・外来での初期治療薬としての地位をさらに確固たるものとし、新製品（アベロックス、フィニバックス）の拡大をはかる
 - フルマリン：感染阻止・感染初期治療薬としての確固たる地位の確立
 - 学会主導の臨床試験を通じた感染阻止薬の評価
 - 消化器領域における初期治療薬としての確固たる地位の向上
 - フィニバックス：中等症から重症感染症治療薬として最適な薬剤としての地位の確立。
 - 抗菌力，副作用，経済性を訴求、カルバペネム系薬No1の地位を目指す
 - フロモックス：外来感染症治療第一選択薬としてのさらなる地位の拡大
 - 溶連菌感染症での臨床エビデンスに基づく小児用細粒の拡大
 - アベロックス：レスピラトリーキノロンとしての地位の確立
 - ニューキノロン市場のみならず、マクロライド市場を見据えた呼吸器感染症の最適治療薬として認知度を高める
 - オピニオンリーダーとの関係強化を図りつつ、効率的な情報提供による早期採用拡大、呼吸器のみならず耳鼻科（副鼻腔炎）皮膚科への展開
- 上記製品群にバンコマイシン、ブロアクトを加え細菌感染症領域でのプレゼンスを確固たるものにする（PK/PD理論の定着・啓蒙、感染阻止・感染初期治療から重症感染症治療までの情報提供の強化）



国内営業（MS領域）

□ 動脈硬化性疾患の発症に対して、患者さんを見すえた診断から治療までのTotal Careをサポートできる体制の確立

■ クレストール

- 適正なPMSの実施およびその結果に基づく通常販売の開始
- 海外の有効性・安全性データの効果的活用によるevidence強化
- オピニオンDrとの関係強化による国内evidence作成

■ 診断薬：心不全診断薬BNPを含めたトータルケアサポートの展開

■ ランデル・ロンゲス：慢性腎臓病と心疾患との関係についての啓発活動を通じた両剤の有用性の浸透

■ 生活習慣病の診断から治療まで総合情報提供活動の強化

■ 代謝循環器領域に特化し製品セットDetailを実施、さらなる情報活動の効率化をはかる



国内営業（がん疼痛領域）

- オキシコンチンおよびオキシコドン速放製剤の使用促進によるがん患者さんの除痛率向上（患者さんを見据えたTotal Careの実践）
 - がん疼痛治療に関するクリティカル・パスの浸透
 - 至適投与量の啓発および副作用対策の徹底による除痛効果の向上
 - がん疼痛の完全除痛をめざしたメディアによる患者啓発
 - オキシコンチン、MSコンチン、塩酸モルヒネ注、ノバミン、リンデロン等の総合DetailによるTotal Care



本資料のお問い合わせ先

本資料の将来の予測等に関する各数値は、発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づくものであり、競合状況等に関わるリスクや不確定要因により、実際の業績が記載の予測数値と大幅に異なる可能性があります。

塩野義製薬株式会社 広報室

本社

TEL: 06-6209-7885

FAX: 06-6229-9596

東京

TEL: 03-3406-8164

FAX: 03-3406-8099